



四日市市立西朝明中学校

令和6年度 第2号
令和6年4月15日(月)

にしあさけ

♡ 母校を愛する心「ここにいま」♡

始業式・入学式の式辞として校内の記念碑に刻まれている「心」「誠」「愛」の言葉にふれて話をしました。対面式では校歌「ここにいま」にふれ、母校を愛することについて考えました。



始業式・入学式では孔子の言葉、「今、汝（なんじ）は画（かぎ）れり」という言葉を紹介しました。「画（かぎ）る」とは、自分で線を

引いてこれ以上は無理と決めてしまうことを意味します。ここから学ぶべきことは「自分で自分の限界を決めな



い」という事です。「自分はここまでだ」と思ってしまうと、その瞬間に脳は進むことをストップしてしまいます。そして、次にやらない理由、出来ない理由を探してしまうのが人間です。

そんな気持ちになったときには、1つ目はスモールステップ。最初から遠くにあるゴールを目指すのではなく、小さな目標を決め、少しずつゴールへ近づいていく方法を探します。2つ目は発想の転換。いろんな方法を試すことによってできなかったこともできるようになるのが人間です。3つ目は一旦横に置いておく。決してあきらめるわけではありません。人間は日々成長します。その日によって体調も変わりますし、冴えてる日もあります。全てが上手くいく時ばかりではありません。ゆっくり進むことの方が近道の場合もあります。



という話をしました。自分で限界を決めず、大きな志をもって進んでいきましょう。

四日市市教育委員会ホームページ

令和6年4月1日より四日市市教育委員会がホームページをリニューアルしました。四日市市の教育行政に関わる情報はじめ、お子さまの学習に役立つ情報など様々な情報を集約しております。一度ご覧ください。

四日市市教育委員会【 <https://city-yokkaichi-kyouiku.jp/> 】

◇対面式◇

4月9日に対面式を行いました。対面式は、新入学生と在校生が初めて顔を合わせ、一緒に生活していくにあたり、心をつなげる場です。心をつなげるために同じ方向を向く必要があります。学校には時代を超えて受け継がれるものがあり「心」「愛」「誠」の精神もそうですし、校歌もそうです。世代を超えて、西朝明中学校で学んだ人すべてが歌える歌。「ここにいま」を共に歌える仲間、一年生の皆さんも仲間入りです。

令和6年度の西朝明中学校生徒会のスローガンは「NISHIASA DAYS ~ぬくもりとなかまの絆~」です。このスローガンの下で、全校生徒が心をつなげて、より良い学校にしていくことを生徒には伝えました。



🌀避難訓練→防災@にしあさけ🌀

4月10日に火災を想定した避難訓練を実施しました。本校では毎年6月に下野地区・八郷地区の連合自治会長様をはじめ、両地区の防災協議会長様、地域マネージャー様のご支援を得、また様々な関係各所のご協力を賜り、災害発生時の対応を体験的に、中学生が地域住民の一員として、援助する側として何ができるかを学び、考える取組として「防災@にしあさけ」を実施しています。本年も6月8日(土)に実施いたします。土曜授業となりますので、ご予約等ご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。なお、10・11日が1年生の自然教室となるため、6月12日(水)を全校生徒の代休日としますので、お知りおきください。

🌀認証式🌀

4月12日に認証式を行い、令和6年度前期の学級役員・生徒会専門委員会の認証を行いました。

中学の生徒会を国の政治に例えるならば、生徒一人ひとり国民、生徒会長は総理大臣、生徒会役員は内閣となります。各クラスで選ばれた、代議員は国会議員、室長や書記は県知事や市長といったところでしょうか。専門委員はそれぞれの立場で国を支える役人、専門委員長は大臣です。



大人になれば、生活している地域の中で、必ず何らかの役割は担っていかなければなりません。中学生活は

「素敵な大人」になるための訓練の場であると考えます。生徒会や専門委員会の活動、クラスの中での役割も、大人になって、それぞれの組織の一員として、快適に過ごしていくための練習です。クラスの係や班の仕事など、自分の役割を真摯に果たすことで、仲間の信頼に応え続ける人になって欲しいと願っています。